

熊大通信

vol. 80
2021 Spring



特集Ⅰ

新学長就任！
小川学長に聞く

特集Ⅱ

困ったとき、悩んだとき
頼れる味方がいます！
熊本大学の学生支援



第9代校長 武藤虎太と仰光館の扁額

五高出身の校長 武藤虎太

昭和初期、習学寮に隣接して卒業生や寮生の家族、寮への訪問客のための宿泊室と寮生の娯楽室を設ける計画があり、1931(昭和6)年の陸軍特別大演習の際の天皇行幸を記念して建設されることになった。

翌年4月末に竣工し、前校長武藤虎太に館名を依頼、武藤は、後継の校長十時 彌と協議のうえ「仰光館」と決め揮毫した。

武藤が二高、四高の校長を経て、母校の第9代校長として赴任したのは昭和6年1月10日のこと、病を得て退職した翌年3月31日まで任期は極めて短かったが、五高にとって意味深い存在である。

武藤は、1887(明治20)年の第五高等中学校(後の五高)開校時に第1期生として予科三級に入学し、1892(明治25)年7月第1回卒業生となった。開校記念式の生徒総代や卒業生総代も務めている。1895(明治28)年帝国大学卒業と同時に五高の歴史学教授として赴任し、1907(明治40)年、二高教授として転出、後の経歴は前述のとおりであり、開校当時の数々の逸話を語り残している。

文 藤本秀子(五高記念館)

※「習学寮」は第五高等学校内に設けられた寄宿舎。
「仰光館」は現在の「くすのき会館」(黒髪北キャンパス)付近にあった。

※「二高」は第二高等学校(現宮城県仙台市)
「四高」は第四高等学校(現石川県金沢市)
それぞれ東北大学、金沢大学の前身校のひとつである。

※五高記念館(国指定重要文化財)は、熊本地震による被害のため長期休館中です。



熊大生、拓く。 数万点の古文書から歴史を紐とく

数万点にも及ぶ熊本藩の古文書群。そこにどんな記録があるのかを紐といているのが熊本大学永青文庫研究センターだ。藩主細川家、筆頭家老松井家、それに各地の庄屋のもとに伝えられてきた膨大な歴史資料の目録の作成には、センターに所属する研究者だけでなく、文学部の学生も参加している。調査のたびに新発見が相次ぐ古文書の分析。次に何が見つかるのかわからない高揚感は、研究の最前線に立っているからこその特権だ。

撮影：熊本大学学生広報スタッフ
文学部 溝口夢奈

CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 新学長就任！
小川学長に聞く
- 11 研究室探訪 宇宙の「最初の星」は、いつどうやって生まれた？
大学院先端科学研究部 基礎科学部門 物理学分野
高橋 慶太郎 准教授
- 13 特集Ⅱ 困ったとき、悩んだとき頼れる味方がいます！
熊本大学の学生支援
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 私たち熊本大学学生広報スタッフです
- 21 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙 / 【原画】松永 拓己 / 大学院教育学研究科 准教授
桜につつまれる熊大 - 白川より望む -

熊本大学広報誌 熊大通信 vol.80

*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

【発行】国立大学法人熊本大学
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
Tel.096-342-3119 Fax.096-342-3110
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【編集】熊大通信編集委員会
大日方信春 / 委員長 大学院人文社会科学部 (法学系)
安村 明 / 大学院人文社会科学部 (文学系)
松永 拓己 / 大学院教育学研究科
松永詩乃美 / 大学院人文社会科学部 (法学系)
一柳 錦平 / 大学院先端科学研究部 (理学系)
尼崎 太樹 / 大学院先端科学研究部 (工学系)
坂梨 京子 / 大学院生命科学研究部 (保健学系)
首藤 剛 / 大学院生命科学研究部 (薬学系)
井口 英樹 / 総務部総務課広報戦略室

【制作】株式会社 談

※記載の職名、学年等は取材時のものです。



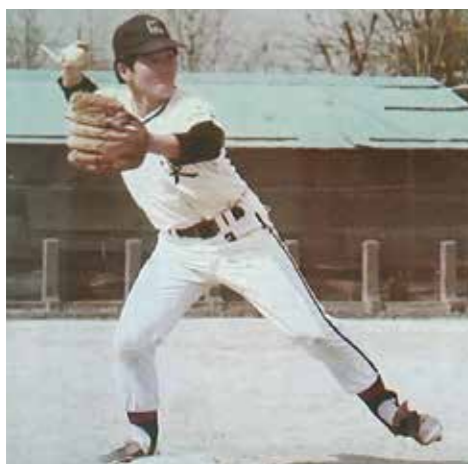
特集 |

新学長就任！ 小川学長に 聞く

2021年4月、熊本大学の第14代学長として、小川久雄氏が就任しました。
熊本大学医学部卒業後、医師として、教員として、経営陣として
熊本大学に従事した小川学長。
その人となり、学生時代の思い出、これからの熊本大学について聞きました。

第14代 熊本大学長 **小川 久雄** OGAWA Hisao

徳島県出身、徳島県立富岡西高等学校卒業後、医師を目指して熊本大学医学部へ。1978年熊本大学医学部卒業。1984年から31年に渡り、医員、助手、講師、助教授、教授として熊本大学に奉職した。2016年より国立循環器病研究センター理事長を務める。2021年4月第14代熊本大学学長に就任。



野球に、勉強に全力を尽くした学生時代。「当時の友人とは、練習の後よく食事に行ったり、飲みに行ったりしました。彼らとは今も関係が続いています」と小川学長



1970年代の医学部の様子（熊本大学文書館所蔵資料）

part 1 大学時代の 思い出

野球に熱中した大学時代。そのころの経験が今も活きる。

1978年に熊本大学医学部を卒業した小川学長。熊本大学で過ごした学生時代が、今の自分につながっていると話します。どんな学生時代を過ごしたのか。学生時代を振り返ります。

強みを活かし、
社会に開かれた大学へ
伝統ある熊本大学の良さを活かし新しい風を吹かせたい



一度外に出たからこそ 熊本大学の良さが見えた

私は、熊本大学医学部を卒業後、1984年から31年に渡り、熊本大学で教育、研究、診療だけでなく、医学部や病院の運営に携わってきました。その後、2016年から国立循環器病研究センターの理事長となりました。

その間、外にいたからこそわかる、熊本大学の良さが見えてきたのではないかと思います。また、国の機関にいたからこそつながりや知識、経験も活かせると思っています。

ケガをしても熱く取り組んだ 医学部の野球部

学生時代に熱中したのは野球です。小生のころから野球をやっていて、熊本

大学でも医学部の野球部に入りました。けれど、私は2年生のときに韌帯を切ってしまいました。手術後、リハビリもして人一倍練習したと自負しています。私が野球部にいた6年間、全国の医学生が参加する大会で3回優勝しましたが、ケガが多かった私は、優勝した年に試合には出られませんでした。

卒業後、臨床に携わるようになると体力勝負の時期もあります。これを乗り越えられたのは、学生時代の猛練習があったからだと思います。今も体力には自信があるし、健康だと言えるのは、学生時代のおかげですね。

授業に、試験に 集中して勉強した6年間

私の学生時代は、1年と2年が教養、3年と4年で医学の基礎知識、5年と6年で臨床というカリキュラム。1、2年の頃は黒髪北キャンパスの教養棟（現在の全学教育棟）で学んでいました。

厳しい先生もいたのですが、難しい先生の授業ほど集中して勉強し、「これに通つたらすごい」と言われる先生の試験にも通りましたよ。集中しすぎて、他の授業の試験を落としてしまい「なんだ？」と友達に言われたこともありまし



part 2
これからの
熊本大学

100年に一度の事態が起きている今だから、熊本大学の良さを活かした、新時代の大学が目指せる

これからの熊本大学において小川学長が目指しているのは「開かれた大学」です。教育、研究、各分野において、どんな強みを活かし、重視しているのかについて聞きました。

社会に貢献できる「開かれた大学」を目指す

熊本大学の強みの一つは世界的にも知られている研究者が多くいるという点だと感じています。医学部の研究についてはある程度知っていたのですが、そのほかにもKUMADAIマグネシウム合金や、永青文庫研究センターでの研究、薬学部歴史学など、素晴らしい研究実績や歴史的資産がたくさんあります。これらをどんどん伸ばして、活かして、発信していかなければと思っています。

そのために必要なのは「交流」です。地域、企業など社会に開かれた大学でなければいけません。国立循環器病研究センターでは、民間企業の人が一緒に研究を行うオープンイノベーションセンターを創設したのですが、企業の人と話していると、社会の中で、どのように活

キャンパスミュージアムで熊本大学をもっと知って！

もう一つの強みは「歴史」。開かれた大学と「歴史」をつなぐ大きな取り組みとして、キャンパスミュージアム構想を掲げています。熊本大学には国指定の重要文化財が4つもあります。五高記念館は熊本地震以降、修復のため閉館中でしたが、2021年12月に修復完了予定です。これを機に周遊の仕組みも作って、高校生、一般の人にもっと熊本大学に来てもらいたいですね。キャンパスが多くの人にとって学びの場、憩いの場になればと思います。さらに講演会などを行って、大学の特徴や研究者のこと、研究内容も知ってもらえるといいですね。

かされていくか、という点をしっかりと考えて研究を進めていくようになります。研究の進み方も早いと感じました。社会と密接に関連するものに力をいれつつ、貢献できる大学を目指す必要があるのではないのでしょうか。

学部の壁を取り払っての交流も重要です。文理融合で熊本大学が一体となつて交流していく場を作っていきたいと考えています。

離れたからわかる「伝統ある」熊本大学の良さ

た。試験の中には口頭試問（面接形式の試験）がよくあって、出題傾向を分析して通ったというところも。おもしろい時代でしたね。

先生の中には、同じ徳島出身の先生もおられ、とてもかわいがってもらいました。わからないことを教えてもらえるのがうれしくて、その授業についてよく勉強したのもいい思い出です。

今はなき、熊本大学の思い出の場所

熊本大学での一番の思い出の場所は「医学部のグラウンド」。当時は医学部内にグラウンドがありました。下宿していたのがグラウンドのすぐ横だったこともあり、毎日、多くの時間をグラウンドで過ごしていたので、いろいろな思い出が残っています。今は医学部の駐車場になっています。

もう一つは、黒髪北キャンパスの教養棟前にあった「北地区食堂」です。今は「多言語文化総合教育棟」になっていますね。ここにあった食堂には、教養の授業の合間や授業後に、仲間とよく集まっていた。

今はどちらもなくなっていますが、その場所に行くと、当時を思い出します。

熊本大学の医学部に31年間勤めた後、2015年に国立循環器病研究センターに赴任しました。そこで感じたのは「熊本大学には伝統がある」ということです。いろいろな専門機関や関連する先進研究の場に、熊本大学や五高の卒業生がたくさんおられました。「自分は旧制五高の出身だから、君は後輩だ」と言ってくれる人もいました。みんな、五高出身熊本大学出身であることに誇りを持ち、愛着も強いです。熊本大学にいたときは「古いだけ」と思ったりもしましたが、長い伝統があるということは、その分の蓄積があり、歴史の重みがあるということなんだと思います。

そんな伝統や歴史に甘えることなく、新しいことを生み出す必要があると感じているのも確かです。これからは、まったく新しい部分にも目を向けて、切り開いていくことで、トップレベルの成果を発表し続ける大学にしたいと思っています。



本荘南キャンパスにあった医学部グラウンド(1996年頃) (熊本大学文書館所蔵資料)



教養棟前の北地区食堂。洋食メニューも充実していた(2011年) (熊本大学文書館所蔵資料)

熊本大学の歴代学長

()内は就任年

初代 鶴淵 健之 (1950年)	2代 本田 弘人 (1959年)	3代 柳本 武 (1965年)	4代 六反田 藤吉 (1969年)	5代 黒田 正巳 (1970年)	6代 岳中 典男 (1974年)	7代 松山 公一 (1980年)	8代 松角 康彦 (1986年)	9代 森野 能昌 (1990年)	10代 江口 吾朗 (1996年)	11代 崎元 達郎 (2002年)	12代 谷口 功 (2009年)	13代 原田 信志 (2015年)
------------------	------------------	-----------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------

熊本大学 理事、副学長 (2021年度)

小川学長体制では、各分野を担当する理事や副学長を多く配置しています。
理事、副学長はそれぞれの担当について掌握しながら、
担当の枠を超えて、チーム体制で熊本大学を動かしていくこととしています。



理事・副学長
大学改革・評価担当
富澤 一仁



理事・副学長
研究・グローバル戦略担当
大谷 順



理事・副学長
教育・学生支援担当
宇佐川 毅



理事・副学長
人事・労務担当
八幡 英幸



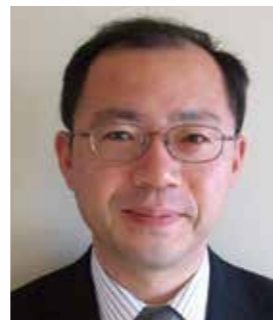
理事・事務局長
財務・施設担当
有松 正洋



副学長
戦略 病院経営担当
馬場 秀夫



副学長
戦略 地方創生・地域連携担当
甲斐 広文



副学長
戦略 産学連携担当
清水 聖幸



副学長
入試・高大連携担当
市川 聡夫



副学長
法務担当
伊藤 洋典



副学長
キャンパスミュージアム担当
小畑 弘己



副学長
男女共同参画担当
前田 ひとみ



熊本地震の被害により、現在は修復工事中の五高記念館

コロナ禍がもたらした 新しい学びの形を活かす

新型コロナウイルス感染症の拡大は、
遠隔授業の増加など、大学の教育にも大

きな変化をもたらしました。そんな中「どこでも授業が受けられる」というメリットも出てきたのではないかと思います。例えば、熊本にいなながら、自分が学びたい分野を得意とする他大学の先生

「いい教育」 なにより重視したい

の講義を受けたり、海外の授業を受けた。今までは難しかったことも簡単にできるよつになりました。
そこで、他大学で受けた授業の単位を卒業単位として認める制度を推進したいと思っています。オンライン授業を取り入れれば、この制度は有効に機能するのではないかと思います。また、ジョイントディグリーやダブルディグリーについても進めていきます。
大学を卒業した人たちに、改めて大学で学ぶ機会を作るリカレント教育にも、このシステムが活かせるかもしれません。社会人がもつと入ってくるシステムができれば、社会で学んだことを研究に活かそうという人材にも来てもらえます。研究者にとつても大きな刺激になり、熊本大学の良さがより発揮できるよつになると考えています。

研究も重要なのですが、どんな分野でも大事なものは「いい教育」だと考えています。そのために、第一線で活躍しているいろいろな人をどんどん呼んできたいとも思っています。一流の人のやり方や考え方に触れることで、人は成長しま

す。学生の皆さんに、「いい教育」の中でしっかりと学んでほしいですね。

学生時代に 教養と英語力を身につけよう

自分の学生時代を振り返って思うのですが、専門科目の知識だけでなく教養をしっかりと身につけることはとても大事だと考えています。私は、学生時代に野球に没頭しました。運動してばかりで、あまり本を読みませんでした。今、文章を書いたり、挨拶をしたりするとき、言葉の使い方や文章力、ボキャブラリーなどが足りないと思うことが多々あります。この能力は、論文や研究以外の場面でも必要とされるもので、学生時代、どれだけ本を読んだか、教養を身につけたかで決まります。ですので、たくさんの本を読んでほしいです。

もう一つ大事なことは英語力です。広い世界に目を向けるためには、必ず語学力が必要になります。私は留学の機会がありませんでしたが、今ではいろいろな学会でつながりができ、グローバルな関係もできています。でも、留学していたら、もつとその幅は広がったろうと思います。海外と付き合える人になれるよつ、英語力をしっかりと身につけてください。

大学院先端科学研究部 基礎科学部門 物理科学分野

高橋 慶太郎 准教授
TAKAHASHI Keitaro

宇宙の「最初の星」は、いつどうやって生まれた？
—宇宙から飛んでくる電波を材料に、
様々な謎に挑んでいます



物理、数学、工学技術
すべてを動員し
宇宙を紐とく科学です

宇宙物理学や天文学と呼ばれる分野の研究を行っています。宇宙に関する様々なことを扱う学問の中で、特に私たちが取り組んでいるのが電波天文学。宇宙から飛んでくる電波を材料に、宇宙を探っています。例えば、宇宙が生まれたのは138億年前。太陽や地球は46億年前で、宇宙全体の歴史から見れば比較的最近です。では、太陽のような恒星が宇宙に初めて生まれたのはいつなのか。予測としては宇宙が始まって1億年目、137億年ほど前だと考えられています。宇宙は、宇宙全体の歴史を紐とけるのがこの研究のおもしろさです。地球で見つけた法則で宇宙を解き明かす、そこに物理学は不可欠で、背後には数学もあります。最新の工学技術を使って作られる望遠鏡も欠かせません。様々なものを総動員して宇宙を探る研究です。



高橋 慶太郎 准教授

—なぜこの研究室に？

中性子星の物理現象と、中性子星を使って重力波を理解する研究を行っています。宇宙は手に取って観察するほど身近ではありませんが、科学的に理解することはでき、それが面白いと思っています。そして、「こうだ」と考えられていたことが実際には違うことを発見できるのも研究の醍醐味。短いスパンで自分がそれを見つけれられるかは分かりませんが、科学全体の中で、何かの発見に少しでもつながればいいのかなと思っています。

—今後の目標は？

実際に望遠鏡を使って得られるデータの解析を本格的にやってみたい。大規模なデータを扱い、そこから宇宙を分析する研究に携わりたいです。

身近で観察できない宇宙を科学的に理解する醍醐味があります



博士後期課程1年
ひさの しんのすけ
久野 晋之介さん

—なぜこの研究室に？

高校生の頃から星を観察することが好きで、ちゃんと学問として学びたいと思ったから。目標は、太陽系の外に生命が存在できる環境が整った惑星を見つけることです。

—今はどんな毎日ですか？

学部生の間は、先輩の論文などを読み、太陽系外惑星をどう観測するのか、どういう工夫をすれば見つけれられるのかをとにかく勉強。大学院ではもっと主体的に知りたいことに対して何をすればいいのかが、自ら考える視点を持って取り組んでいきたいと思っています。難しいことばかりですが、太陽系以外に地球のような星を見つけないというロマンがある目標が、自分を励ましてくれます。

太陽系の外に生命が存在できる星を見つけることが夢です



理学部4年
なかむら みか
中村 美香さん

学生が見た！

高橋研究室 3つの特徴

- 研究テーマ**
宇宙再電離(EoR)、パルサー、磁場、宇宙生物という4つの研究グループに分かれ、宇宙はどう始まったのか、地球外に生命はあるのかなど、様々な宇宙科学に取り組んでいます。
- 研究手法**
自主性を重んじてくれる先生です！
- 先生**
院生以上の学生は、英語力を磨くためのゼミ、ランチタイムに論文や研究紹介をするランチセミナーなども実施。

Lab's Data

- 卒論テーマ
 - ・重力マイクロレンズによる太陽系外惑星の観測可能性
 - ・楕円軌道を持つ超大質量ブラックホール連星からの重力波
 - ・銀河の3次元磁場構造
 - ・宇宙再電離21cmの前景放射除去
- 就職先
 - ・宇宙技術開発株式会社
 - ・伊藤忠テクノソリューションズ
 - ・三菱電機マイコン機器ソフトウェア株式会社
 - ほか
- メンバー
 - ・准教授1名
 - ・研究員3名
 - ・大学院生9名
 - ・学部生3名



人工電波を計測する実験



オーストラリアでの共同研究



※記載の職名、学年等は取材時のものです。

教育支援

対面とオンラインを活用し、新しい教育を目指しています！

熊本大学では、どんな授業を履修するかを登録するのもオンラインで対応しています。講義は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、対面だけでなく、Web会議システムやオンライン学習システムを活用した遠隔授業を併用。それぞれの特徴を活かし、さまざまな工夫を凝らした新しい学びの形への転換を行っています。

対面授業

実験や実習など、必要に応じて実施

遠隔授業 (リアルタイム型)

ZoomなどのWeb会議システムを活用

e-ラーニング (オンデマンド型)

オンライン学習システム Moodle上で動画などを視聴

先輩からアドバイス！



文学部
コミュニケーション
情報学科3年
清野 花連
SEINO Karen

遠隔授業のメリットは、周囲を気にせず集中して授業に臨めること。チャットで質問もできるので1対1の授業を受けている感覚でした。受講者をグループに分けて行うグループワークもあり、議論する場面でも相手の話を集中して聞く習慣ができたと思います。



薬学部
創薬・生命薬科学科1年
佐藤 諒一
SATOH Ryoichi

Moodleにアップされた遠隔授業の映像は復習に有効。テスト前に役立ちました。通学にあてる時間を活用して、薬学検定に挑戦できたのもよかったです。授業選択でわからないことは教務にメールで相談しました。サークルに入って同じ学部の先輩に聞くのも有効ですよ！

授業動画はテスト前に活用！
サークルの先輩からの情報が有効です

わからないときはココで相談！

履修登録のやり方がわからない

所属学部の教務担当 または
教育支援課教養教育担当へ

教育支援課教養教育担当
電話 096-342-2718, 2717(平日9~17時)
メール gak-kyoyo@jimu.kumamoto-u.ac.jp

オンライン授業を受けるための準備について不安がある

総合情報統括センターヘルプデスクへ

総合情報統括センターヘルプデスク
電話 096-342-3949(平日9~17時)
メール help4u@cc.kumamoto-u.ac.jp

通信環境・機材の支援が必要

教育支援課教務支援担当へ

教育支援課教務支援担当
電話 096-342-2716, 2719(平日9~17時)
メール gak-senmon@jimu.kumamoto-u.ac.jp

特集II

困ったとき、悩んだとき頼れる味方がいます！

高校までとは異なる大学生活。

学びや暮らしなど、さまざまな場面で、

困ったり、悩んだりすることが出てくることもあります。

そんなとき、大学には気軽に相談でき、

一緒に解決の道を探してくる頼れる味方がいるんです。

今回は、学生の皆さんへのいろいろな支援をご紹介します！

熊本大学の 学生支援



「誰も取り残さない！」
という思いで
熊本大学ONETEAM
で支援します

学びたい、という意欲ある学生を徹底的に支援するのが大学です。熊本大学では「誰一人取り残さない」という考えのもと、大学全体がONE TEAMとなって、多岐に渡る支援を展開しています。2021年度も実施するオンライン授業については、2020年度に行った学生対象のアンケートの結果などを活かし、最大限の準備を行っています。それでも、自分ではどうにもならない状況に置かれることもあります。そんなときは、ぜひ、相談窓口やWebから匿名で投稿できる「意見箱」を活用してください。支援はあなたのもとに必ず届きます。「自分はあてはまらない」「自分のことではない」と判断しないでください。声をあげてもらえたら、総力を上げて支援していきます。いつでも、遠慮なく相談してください！



大学教育統括
管理運営機構
副機構長
齋藤 靖
SAITOH Yasushi

経済支援 **どんなときも学び続けたい。 そんな学生を経済的に支援します**

今般の新型コロナウイルス感染症の影響や、突然起こる自然災害などで経済的に困窮している学生を支援し、学び続けていただくために、入学料免除や授業料免除及び様々な奨学金制度があります。

経済支援担当ではこれらの経済的支援の情報を熊大公式ウェブサイトやSTメール(学生番号@st.kumamoto-u.ac.jp)により発信しています。



1 入学料免除・授業料免除

経済的な理由(学費負担者の死亡や自然災害含む)で入学料や授業料が期限までに支払えない場合、入学料の免除や徴収猶予、授業料の免除を行っています。

入学料免除・猶予



授業料免除



※授業料免除・奨学金、その他の支援に関する最新情報は、熊大公式ウェブサイトをご確認ください。

2 奨学金・その他の支援

・日本学生支援機構(JASSO)、地方公共団体や民間団体などの奨学金情報をまとめています。団体によって対象や審査項目が異なります。
・状況に応じて、大学独自の給付金制度で支援する場合があります。情報は随時、熊大公式ウェブサイトなどで提供しています。



お問い合わせ先 | 学生生活課 経済支援担当
096-342-2126

学生支援 **学校生活から食生活、健康まで、 小さなことでもお気軽に！ ご相談ください！**

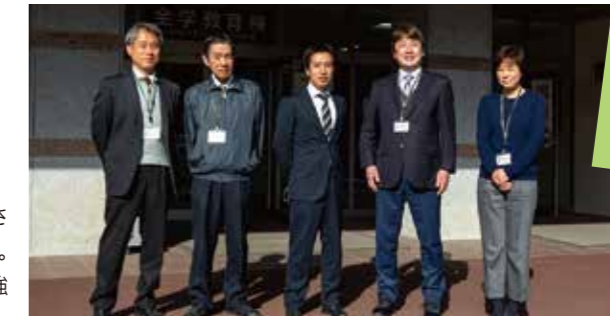


授業だけでなく、暮らしの「困った」の相談にも対応してくれるのが「学生相談室」です。学内のさまざまな機関や専門職員と連携して、最適な支援をしてくれます。

学生相談室

困ったときは まずココへ！

勉強や就職、心身の悩みなど、さまざまな悩みに対応しています。「単位のとり方がわからない」「勉強がうまくいかない」などの相談は、面談で聞き取りを行った後、学部の教職員とも連携し、解決に向けてサポートします。勉強や成績に関すること以外でも、アルバイト先での悩みなども相談のっていますよ！



小さなことでも、誰に相談していいかわからないと思ったらいつでもお話を聞きます！



お問い合わせ先

黒髪北地区 全学教育棟1階
096-342-2127/2128
gag-soudan@jimu.kumamoto-u.ac.jp

生 協

入学から卒業まで みなさんの暮らしをサポートしています！

学生食堂や学生会館ショップで、学びから食生活、アルバイトやアパート探しまで幅広く暮らしをサポートしてくれるのが熊本大学生生活協同組合(大学生協)です。大学生協の入口から出口まで、便利なサービスが揃っています。

生活支援

アパートなどのお部屋探し、物件紹介だけでなく、入居後のトラブルにも対応します。

学 食

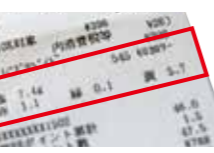
黒髪北・黒髪南・本荘・大江の各キャンパスにそれぞれ食堂があります。いずれも、栄養バランスの取れたメニューを提供。それぞれの価格も安いので、毎日きちんと食べられます。

キャリアアップ

TOEIC講座や教員試験・公務員試験対策講座を実施。20年の実績があり、一部はオンラインで受講できます。

教科書、図書販売

講義に必要な教科書がすべて揃っています。大学に来られない方には宅配サービスも行っています。



学生会館食堂で食事を食べると、体への作用ごとに食材を色分けした三色食品群の量、塩分などがレシートに表示されます



熊本大学生生活協同組合 専務理事

竹山 英紀
TAKEYMA hideki



熊本大学生生活協同組合
@kum_coop

このほかにもいろいろなサービスがあります。生協は学生の皆さんが出資者。ぜひ、活動にも参加して、よりよいサービスを一緒に作りましょう！

※記載の職名、学年等は取材時のものです。

保健センター

医師、看護師が 常駐する 大学の保健室

体や心の不調を感じたときに利用できる、いわば「大学の保健室」です。医師、看護師が常駐しており、いつでも相談を受付けています。お薬の処方もしています。体の不調だけでなく心の不調についてはメールでも相談可能。本荘地区(医学部)、大江地区(薬学部)にも看護師が常駐していますので、気軽に相談に来てください。



保健センター長 教授
精神科医
藤瀬 昇
FUJISE Noboru



お問い合わせ先

黒髪北地区 図書館斜め前
096-342-2164
hoken@jimu.kumamoto-u.ac.jp

保険証がなくてもOK。無料です。定期検診もあるので、ぜひ、受けてください！

学生支援室

すべての人が 公平に学べる機会を！ 学生と一緒に支援します。

障がいなどのある学生の相談窓口で、合理的配慮が提供されるための調整を行っています。臨床心理士やソーシャルワーカーも常駐。課題やスケジュール管理などにおいて、学修や生活の障壁になっているものがあれば、できる限り取り除けるようサポートします。学生が参加しているサポートサークルとも連携し、適切な支援も行っています。



学生支援室 特任助教
臨床心理士
井上 寛子
INOUE Hiroko



お問い合わせ先

黒髪北地区 全学教育棟1階
096-342-2765/2766
※ホームページのメールフォームからの相談も受付けています。

就職支援にも力をいれています。迷わずご相談ください！

文 視野を広げ、違う思想への理解を深める
きっかけを与えてくれた熊本大学留学



匡 路(キョウ・ロ)

Kuang Lu

桂林电子科技大学 カウンセラー(桂林市・中国)

留学期間:2018年10月～2019年3月
留学先:大学院社会文化科学研究科博士前期課程
現代社会人間学専攻認知哲学・心理学研究コース
大学院特別研究学生

1992年生まれ。中国湖北省出身。中国広西省の広西師範大学在学中に、熊本大学文学部に交換留学。帰国後、広西師範大学大学院博士前期課程修了。大学生の時、日本語が好きで自分で勉強を始めました。その後、日本文化にも興味を持ちました。

熊大のココがイイ!

特に秋のキャンパスがとてもきれいでした。また、文化祭では、特別な思い出ができました。

国の未来である子どもたちを導く教師が夢

高校生の時は、先生になり、学生たちにおもしろいことをたくさん教えたいと思っていました。子どもは国の未来であり、教育はとても大切です。社会を良くするため、自分の力を役立てたいと考えていました。

人が優しく、まったく寂しくなかった留学期間

桂林市と熊本市は友好都市で、桂林にある広西師範大学と熊本大学も交流があり、私も交換留学生として留学しました。桂林市内では熊本について見聞きする機会がたくさんあり、くまモンの写真もよく見かけます。私がくまモントップだったことも、留学した理由の一つ。自然環境も似ており、秋、熊本大学のキャンパスで木犀の香りがしたことをよく覚えています。熊本や九州の人は特に優しく、外国人の私に親切にしてくれました。留学生活はとても楽しく、半年間、まったく寂しくありませんでした。

日本人の美意識も、深い影響を与えてくれた

留学の半年間、たくさんのことを体験して、勉強になりました。日本人の特別な美意識が自分に深い影響をくれました。熊本での人間関係も深い印象を残し、今の職場で、同僚や学生たちとの関係づくりに役立っています。留学が自分の視野を広げ、違う思想への理解を深めてくれました。

医 研究を経て、日本の医師免許に合格
現在、日本の病院で研修医として奮闘中



田 哲(デン・テツ)

Zhe Tian

和歌山県立医科大学附属病院 研修医

留学期間:2009年4月～2013年3月
留学先:大学院医学教育部
医学専攻博士課程

1984年生まれ。中国山東省出身。中国黒龍江省の牡丹江医科大学の臨床医学を卒業後、熊本大学大学院生命科学研究部博士課程に留学、心臓血管疾患関係について4年間研究し卒業。

熊大のココがイイ!

歴史があるキャンパスや、研究室の穏やかな雰囲気。

限りある命を健康に。人を守る医者を目指す

命には限りがあるのに、さらに病気がケガなどより生活の質が低下してしまうこともあります。私は少しでも人々の健康を守ることができる人間になりたいと考え、医者になる目標を見出しました。

研究で忙しい中、交流会や旅行も楽しんだ熊本生活

熊本大学における医学の研究業績は日本全国で有名です。また自然豊かで落ち着いた研究ができると考え、留学先を選びました。遅くまで論文を読んだり忙しい日々でしたが、日本人と日本文化をもっと知るために、時々単発のアルバイトも経験。国際交流会館の交流会に参加したり、東京や大阪、九州各地へ旅行することも大好きでした。少し時間ができると、音楽を聴いたり、ランニングしたり、日本人学生に中国語を教えるなど、とても充実した留学生活でした。

博士課程修了後も熊本大学にとどまり、6年間研究

博士課程修了後も研究を発展させるため、熊本大学大学院の分子遺伝教室にて、さらに6年間の研究を続けました。その後、日本で医師になろうと、日本の医師国家試験に合格し医師免許を取得。現在は和歌山県立医科大学附属病院にて研修医としてがんばっています。

法 日本で法を学んだ経験を活かし
講師をしつつ、研究プロジェクトにも参画



李 侖娜(イ・ユンナ)

Lee Yoon Na

韓南大学校 法政大学 法学部 講師
(大田広域市・韓国)

留学期間:2010年4月～2013年9月
留学先:大学院社会文化科学研究科
人文・社会科学専攻法学領域博士後期課程

熊大のココがイイ!

歴史のある校庭と夏目漱石先生の銅像がとても魅力的で印象的でした。

夜学のボランティア講師をきっかけに、教師を目指す

高校性の頃は、大学に進学して卒業したら、普通の会社に就職するか公務員になりたいと漠然と考えていました。大学に入ってから夜学で先生のボランティアを始め、その時から先生になりたいと思っていました。

学部でも1年留学。博士学位を取るために再度熊本へ

熊本大学大学院への留学を決めたのは、学部生時代の1年間、熊本大学法学部で交換留学生として勉強した経験があったからです。1年間の交換留学生生活は、私にとって大学院進学という新たな目標を持つきっかけとなり、外国で博士学位を取りたいと思った時に真っ先に思いついたのが熊本大学でした。大学院では研究で色々忙しかつたのですが、剣道部に入学して部活を経験したことは、良い思い出になっています。

留学経験を活かし、現在は研究プロジェクトにも参画

先生になるという目標は忘れず、韓国に帰国後は、母校の韓南大学校で2014年から現在まで法学部講師として憲法を教えています。日本で博士学位を取得した経験から、政府出捐(しゅつえん)研究機関(政府が出資する国策等の研究機関)の研究プロジェクトにも研究員として投入され、日本の法令や法制度に関する比較・分析関連研究を行っています。

薬 2021年からリバネスフィリピンの代表に
科学技術を通して母国に貢献したい



デューリヤ・イエブジェニ・アスター

Dulla Yevgeny Aster

株式会社リバネス(東京都)

留学期間:2013年10月～2018年9月
留学先:大学院薬学教育部創薬・生命薬科学専攻博士後期課程
HIGOプログラム:健康生命科学(修士)、薬科学(博士)

熊大のココがイイ!

熊本大学は、外国人に優しい大学でした。住みやすい土地柄も良かったのです。

子どもの頃から科学者になることが夢

理科専門高校で勉強していた頃は、将来の夢は科学者が医師になることでした。最終的に、幼い頃からの夢だった科学者になることを決めました。

科学に対する自分の思いに合致したHIGOプログラム

日本に来る前、フィリピン大学で教えていた時、熊本大学のHIGOプログラムについて知る機会があり、興味を持ちました。科学者になりたいと思う中で、科学技術は、芸術と人文科学なくしては無意味ではないかとも考えており、そんな自分の興味や目標に沿っていたのがHIGOプログラムでした。留学しHIGOプログラムで学んだお陰で、熊本と日本はもとより、世界中にたくさんの友だちを作ることができました。

ビジネスコンサルタント会社を経てリバネスへ

卒業後はまず、東京のビジネスコンサルタント会社で働き、主にアメリカとヨーロッパのバイオテクノロジー及び医療機器企業が、日本に進出する際の支援を行っていました。昨年からはリバネスの創業開発事業部で働き始め、技術の社会実装に取り組んでいます。今年、リバネスフィリピンの設立に伴い、子会社の代表に就任。母国へ、科学技術を通して貢献したいと考えています。

工 留学生が多い熊本大学で得た
世界中に広がるネットワーク



モハマド・フェルダウス・ヌール・オーレディ

Mohamad Ferdous Noor Aulady

アディ・タマ・スラバヤ工科大学 助教
(Institute Technology Adhi Tama Surabaya /スラバヤ市・インドネシア)

留学期間:2017年10月～2020年9月
留学先:大学院自然科学研究科博士後期課程環境共生工学専攻

熊大のココがイイ!

静かで、勉強にはとても適したところ。留学生にも親切で快適な生活ができました。

マンガやアニメで日本に憧れた子ども時代

小学生の頃はマンガが好きで、中学生になってからはアニメを見続けていました。そのため、マンガやアニメで見ていた日本が、どれほど素晴らしい国なのかを見に行くことが私の夢でした。実際に訪れて、日本の文化や風景に本当に感動しました。

災害管理分野の藤見准教授のもとへ留学

熊本大学には、私の研究分野である災害管理の研究グループがあります。留学するには、その分野のエキスパートである工学部社会環境工学科の藤見俊夫准教授に連絡を取り、私の指導教官となって頂きました。

熊本大学は国際化を進めており、数多くの留学生が学んでいます。そのおかげで私は、熊本大学はもちろん、日本国内、そして世界中の国々に、自分のネットワークを広げることができました。

共同研究も目標に、災害管理の研究を継続

留学を終えた後は、アディ・タマ・スラバヤ工科大学の講師となり、その後、助教となりました。今後は、熊本大学での研究分野である災害管理に關した研究を続ける予定です。また、藤見准教授と、私の母国であるインドネシアの災害管理に關して共同研究を行うことが現在の目標です。



本学の卒業生たちの今に迫る「卒業生ジャーナル」。

今回は、海外から熊本大学に来て学んだ

留学生の今を聞きました。

熊本大学を目指した理由、学生時代の思い出のほか、

今の活躍の様子をご紹介します。

教 夢を叶え教師になり、新しい目標も。
将来は海外の韓国同胞の教育支援をしたい



孫 恩恵(ソン・ウネ)

Son Eun-hye

京畿道安城教育支援庁 奨学士
(安城市・韓国)

留学期間:2013年10月～2015年3月
留学先:大学院教育学研究科(学校教育(教育))
国際外国人留学生(教員研修留学生)

熊大のココがイイ!

美しい風景、静かなキャンパス。そこで会った立派な先生方、暖かい心の学生と、年齢を越えた友情を交わしました。

文部科学省の教員研修生プログラムに合格し留学

大学生の頃に日本の文化などに関心があり、日本で勉強したいと漠然とした願いを持っていました。そして、教師になってから知った日本の文部科学省教員研修生プログラムに挑戦！ありがたくも留学の機会が与えられ、私にとって親しい地域である九州の熊本大学を留学先を選びました。留学中は、日本の小学校の多文化教育環境に関する研究を藤井美穂准教授に手伝ってもらい修士論文を完成し、韓国に戻って大学院を卒業しました。

難しい教育専門職試験に合格。教育庁へ転職

2020年まで小学校教諭として勤務。昨年、かなり難しいことで知られる教育専門職試験に合格し、2021年から教育支援庁に勤務しています。教育専門職とは、教育庁で「奨学士」や「教育研究士」と呼ばれ、学校現場をサポートする教育行政(研究)専門職です。5.6年後には、学校の管理職である教頭や校長になる人が多いです。

今の目標は、海外の韓国教育院への派遣

高校生の頃に抱いていた、教師になりたいという夢は叶いました。しかしそれで満足せず、今は、4.5年後に、海外の韓国教育院に派遣され働くという目標を持っています。海外に住む韓国人の教育を支援し、多様な文化間の交流や相互尊重の文化創造に貢献したいと思っています。

SNS

ぜひ、フォロー、チャンネル登録してください！
を活用して情報発信中！



ENJOY!
SNS

Twitter

ほぼ毎日、お役立ち情報を発信中

熊大の学生生活や日々の風景、出来事を中心に、主に受験生向けのお役立ち情報をほぼ毎日つぶやいています。質問も随時受付けていますので、気軽にフォローしてください！



YouTube

キャンパス案内やユニークな学部を動画でご紹介！

学生広報スタッフが撮影、編集した動画をアップしているチャンネル「月が綺麗ですね。」では、各キャンパスの魅力や熊大ならではの学部、コースの紹介を配信中。大学や学部を決める参考にもらえるような情報発信を心がけています。



follow me!

Instagram

熊大生おすすめのスポットを素敵な写真で紹介！

学生広報スタッフおすすめの熊大、熊本のスポットを紹介しています。きれいな風景や美味しいものなど写真を見ると、行ってみたいくなりますよ。フォロー、コメントもお待ちしております！



私たち

学生

熊本大学

広報スタッフです



2020年度から、本学の教育、研究、学生活動などの魅力を学内外に発信しているのが「熊本大学 学生広報スタッフ」。

現在、8名の学生が SNS の運営や動画制作などをボランティアで行っています。

現役学生の目線で捉えたお役立ち情報を発信していますので、ぜひ、フォローをお願いします！



文学部コミュニケーション情報学科
おおやりく
3年 / 大屋 陸



文学部コミュニケーション情報学科
まただ みさき
3年 / 前田 美沙希



法学部法学科
うらゆうすけ
3年 / 浦 祐輔



法学部法学科
あびる
3年 / 阿比留 りこ



文学部コミュニケーション情報学科
くろぎ ふみな
3年 / 黒木 郁奈



文学部コミュニケーション情報学科
みそぐちゆめな
3年 / 溝口 夢奈



文学部コミュニケーション情報学科
こうのみづき
3年 / 河野 美月



文学部コミュニケーション情報学科
せいのかれん
3年 / 清野 花蓮

学生広報スタッフに聞きました!

Q1 どんな活動をしているんですか？

今は、8人のスタッフが YouTube 班、SNS 班、商品開発班、ライター班に分かれて活動しています。一人が一つだけの班ではなく、兼任しているので、いろいろな活動が体験できます。現在、主に活動しているのは YouTube 班と SNS 班、商品開発班です。YouTube 班は、熊大のキャンパスや各学部の様子を動画で撮影。現役大学生の声も伝えています。SNS 班は、Twitter と Instagram で熊大キャンパスのお役立ち情報を発信しています。商品開発班では、熊本大学のグッズ企画を行っています。学生だけでなく、地域の方々にも喜んでいただけるグッズを作ろうと企画を練っているところです。

※記載の職名、学年等は取材時のものです。

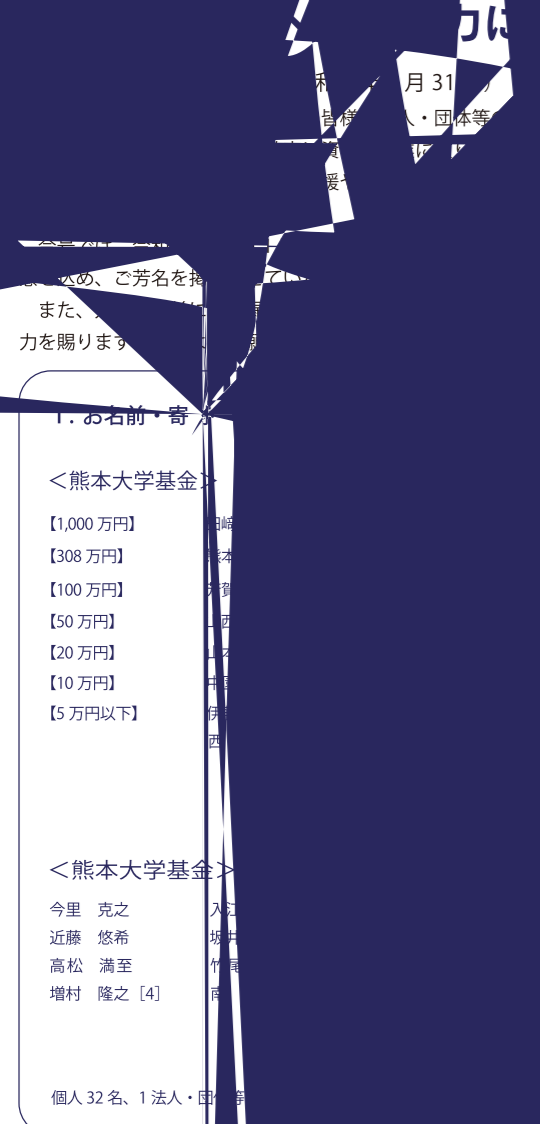
Q2 新入生のみなさんに一言、お願いします!

大学では様々な団体が活動しています。自分が興味をもったこと、関心があることが見つかったら、積極的に見学してみてください。ほとんどの団体は、SNS も運用しているので、そういう情報も活用してもらえると思います。もし、学生広報スタッフに興味を持ったという方がいたら、一緒に活動しましょう！皆さんの同級生のために、後輩になる人たちのために、いろいろな情報発信をしていきましょう！

学生広報スタッフへの参加方法はこちらのページをチェック!



このほかにも、今後オリジナルグッズ制作など、学生ならではの視点で熊大を広報していきます。



REPORT



「1620年代 細川家の葡萄酒製造とその背景」展の様子

REPORT



左から、松本泰道理事、豊田真子氏、原田信志学長、宮瀬美津子副学長

REPORT

令和2年度学生表彰を行いました

3月16日(火)に、令和2年度学生表彰式を行いました。表彰状を修めた、また、個人4名が表彰されました。

団体

団体名	活動内容
学生災害復旧支援団体「熊助組」	令和2年7月豪雨災害ボランティア活動
松永研究室 教育学部学生7名	くまモンポート八代 トリックアート制作
松永研究室 教育学部教育科学研究科学生2名	くまモンポート八代 アートウォール制作



個人(ボランティア活動)

所属	氏名	活動内容
法学部法学科 法学コース4年	深海 秀斗	熊本県防犯若武者へアース活動 熊本県少年サポーター活動

個人(課外活動)

サークル名	所属	氏名	大会等名	成績
アーチェリー部	理学部2年	渡邊 優斗	九州国立大学定期戦リモート大会	一般男子の部 優勝
アーチェリー部	文学部1年	菅原 佳祐	第55回九州学生アーチェリー新人選手権大会	初心者の部 男子優勝
少林寺拳法部	法学部1年	甲斐 大翔	第51回少林寺拳法全九州学生大会	男子白緑帯単独演武の部 最優秀

REPORT

第15回先端科学技術分野学生国際会議(The 15th ICAST 2020 Online)を開催しました



運営委員の学生たちによる準備風景



大谷順 副学長による挨拶の様子



連川貞弘 大学院自然科学教育部長による挨拶の様子